

先輩社員に聞く電気工事の魅力



AI時代でもなくなる仕事
若手社員が語る電気工事の魅力

山崎 佑

求人情報 21P
掲載企業まっぷ番号 15

株式会社新和電工

工務部

2023年3月卒業 2023年4月入社
出身校 日本工学院専門学校 電子・電気科

-- どのような形で就職活動に取り組みましたか

山崎 日本工学院専門学校の電子・電気科を卒業しているのですが、高校時代はAIに興味があり大学進学を目指していました。

ただ、視野を広げて進路を考える中で、母の勧めもあって専門学校へ進学しました。IT分野にも興味はありましたが、より幅広い分野を学べると思い電子・電気科を選びました。就職活動では特定の業界にこだわらず、興味を持てる仕事を幅広く探しました。

学校の会社説明会にも参加しましたし、マイナビやリクナビなどの就職エージェントも利用して、様々な企業を比較しながら就職活動を進めました。

-- 就職先を決める上での基準や条件はありましたか

山崎 大きく二つあります。一つは「人にしかできない仕事かどうか」です。AIやインターネットが発展する中で、オンラインだけで完結する仕事は今後減っていくのではないかと思っていました。だからこそ、人が現場で関わりながら形にしていく仕事に魅力を感じました。

もう一つは「時代の変化に柔軟に対応できる会社かどうか」です。就職活動の時期がコロナ禍だったので、企業の売上や社会情勢への対応なども調べていました。環境が変わっても対応できる会社であれば、長く働けると思ったからです。

-- 新和電工へ入社を決めた動機は

山崎 就職エージェントから紹介されたのがきっかけでした。それまで電気工事業界についてはほとんど知らず、電気工事といえば職人の仕事というイメージしかなかったんです。

ただ、新和電工のホームページを見てみると、工事を管理する「現場監督」という仕事があることを知りました。以前からマネジメントに関わる役割に興味を持っていた

ことも重なり、さらに説明会や面接を通して、自分が重視していた条件にも合っていると感じ、入社を決めました。

-- 現在はどのような現場を担当していますか

山崎 入社2年目で、現場監督の見習いとして先輩の補佐をしながら経験を積んでいます。入社後は約2か月の研修を経て現場に配属され、最初はホテルの改修工事に携わりました。

その後、現在は区が運営する総合スポーツ施設の工事に携わっています。材料の手配や作業準備などを行いながら、先輩の仕事の間近で学んでいるところです。指示を待つだけでなく、現場を見て自分にできることを見つけて行動することを意識しています。

-- 仕事での難しさはどこにありますか

山崎 建設現場では多くの業者が関わるため、工程が変わることも多く、その状況に合わせて柔軟に対応しなければならないところです。

また、材料の種類や専門用語も多く、覚えることは少なくありません。分からないことはまず自分で調べ、それでも分からない場合は先輩や職人さんに聞きながら理解を深めています。

-- 仕事でどのような時に喜びを感じますか

山崎 工事が完成する「竣工」は大きな達成感があると思いますが、そこまでの期間は長いので、自分は日々の小さな目標を大切にしています。

例えば「今日はこれをやる」と決めたことを一つずつ達成できたときに、仕事が進んでいる実感があります。そうした積み重ねが成長につながると思っています。先輩に負担をかけないように、早く一人で仕事を任せられるようになりたいですね。